

七月十四日

こんなに時間がズルズルとパンツのヒモがゆるむように過ぎてしまつていいのだろうかと思わぬでもない。私の研究室の陸海の中国非自発移住者の住宅政策と住宅建設に関する研究に関しては、日本で評価できる学者がいるのだろうか、といささかな疑問がある。国際化とはハードなものだ。

八時前起床。まだ涼しいが九時頃から温度は上るそつだ。八時半河野鉄骨オヤジさん来る。増築部分一階の床張りにとりかかる。少々の段取りを打合わせ。十時松下電器空調&断熱性能の打ち合わせ。十二時迄。昼食、サンドイッチ、ミルク。デービット他と森の学校、打ち合わせ。十三時半、伊藤さん来室。伊豆の件。十五時過まで。ペーパー・プロダクトのリサーチ報告を聞く。十六時研究室発、厚生館現場へ。広島の本木君に発注する照明の予算をひねり出さなくては。八大建設西山社長、近藤理事長と打ち合わせ。会食。

七月十五日

河野鉄骨世田谷村二期工事一Fの鉄の床製作。十二時研究室。昼食はさぬきざるうどん。中盛りを喰べ残した。情ない。十五時野口君博士論文審査分科会。入江、渡辺両先生より、幾つかの注文が出た。雑用をすませて、十七時大学を出て、東大へ。十八時前東大難波研究室。十八時伊藤毅先生の講義「歴史のなかの都市

グリッド」聴講。大きな網を投げかけているヴィジョンが感じられる講義であつた。イコノグラフィクの極とも言つべきグリッドという概念で都市の歴史を論じたいという意志の顕現。二〇時終了。近くのすつかりおなじみになつた料理屋宮本で会食。談論風発。二十二時半まで。只今二十三時過新宿京王線車中。伊藤先生の講義の中核は、やはり歴史家特有の何とかがあらゆる事象を説明し切りたいという意欲の現われがあつたという事である。都市史という比較的新しい分野の歴史家の考えの一端に触れる事ができた。二十四時前世田谷村に戻る。